



機 械

2021年度新規採用職員インタビュー

「県行政を支える、縁の下の力持ち」

所属

県中建設事務所

建築住宅部 建築住宅課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 現在の仕事は、主に設計・工事の監理です。県の施設を改修するには、まず設計会社に、工事の設計を委託し、実態に即した設計を作り上げます。設計が形になりましたら、設計を基に、施工業者の方に工事を行ってもらいます。工事の進行中にも、業者の方との打合せを重ねて工程や出来形を監理します。自分が携わったものが、20年、30年と形に残ると思うと感慨深いものがあります。



↑ 工事進捗の確認

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 1年目ということもあり、わからないところは先輩方が優しく教えてくれることが多いのですが、「その環境に甘えてはいられない」という思いもあります。努力を積み重ね、将来的には、あの人に聞けば分かる、困ったらあの人に相談してみよう、周りにそう思ってもらえるような職員になりたいと思っています。



INTERVIEW

## 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

Q. 県職員を志望した理由を教えてください。

A. 私は、大学3年生の時に福島県総務部施設管理課でインターンに参加しました。その際に高校や警察署など県民の暮らしに密接した施設の維持管理などを知り、自分が今までお世話になってきた環境で大学まで学んできたことを役立てたいと考え県職員を志望しました。

Q. どうやって仕事を覚えていますか。

A. 初めて取り組む業務は、先輩に教えていただいたことに加え、自分で感じたことや気をつける点なども含めて全てメモを取るようになっています。また、国や県の基準等に基づいて業務を行うため、自分なりに資料集を作成し、少しでも悩んだらすぐに基本に立ち返ることができるようにしています。



↑ 工事の成果品の確認

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「現場主義」「チームワーク」「ポジティブに」「岩手からUターン」「休日にワカサギ釣り」

Q. 「チームワーク」について教えてください。

A. 機械職の仕事はチームワークだと感じています。上司、先輩、業者の方と、その時に関わる全ての方々とチームで仕事をしており、今はまだ助けてもらってばかりですが、早く助ける側になれるよう努力したいと思っています。



↑ 工事状況の確認